

第37回

名古屋大学附属図書館友の会トークサロン

ふみよむゆふべ

モノのふみをよむ

-絵図と遺構で読む高木家陣屋-

かたり：溝口 正人

(名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授)

建築は、衣・食・住、生活行為が展開される場として作られた建物に関する物質文化の一分野で、その歴史を扱うのが建築史です。様々な文献史料と合わせ読むことで、残された建物からはモノそのものの歴史だけではなく、時代時代の生活・技術・社会制度・美的概念を読みとることができます。名大図書館に所蔵されている『高木家文書』には旗本高木家陣屋に関わる貴重な絵図や文書が多く納められていて、近世から近代を生き抜いた旗本の生活の実態を知ることができます。

一方、国史跡高木家陣屋跡には江戸時代の建物の一部が残っていて、旗本の住まいを今日に伝えています。そこで現存遺構と『高木家文書』に残された絵図や文書から、旗本高木家陣屋の歴史の一端を読み解きたいと思います。



2015年10月20日(火) 午後6時～

名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

参加無料
申込不要
会員以外の方も歓迎します

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666

FAX 052-789-3693

E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)

名古屋大学附属図書館,
同研究開発室

